

# (お 知 ら せ)



平成20年 4月 8日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

### 1. 運転状況について ( 4月 8日現在)

( ) 内は定格電気出力

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1 号 機<br>沸騰水型 ( 3 5 万 7 千 kW) | 運 転 中   |
| 2 号 機<br>加圧水型 ( 1 1 6 万 kW)   | 平成19年8月26日より<br>第16回定期検査中<br>(定期検査の工程表は別紙1のとおり) |

### 2. 故障等の状況について (平成20年 3月 6日～平成20年 4月 8日)

#### (1) 法律に基づく報告事象

な し

#### (2) 安全協定に基づく異常時報告事象

な し

#### (3) 保全品質情報等

な し

### 3. 敦賀発電所3, 4号機準備工事について (4月8日現在)

#### (1) 防波堤・護岸等の構築

冬場は高波浪期のため海域工事は休止しておりましたが、4月5日より海域工事を再開しました。

#### (2) 敷地造成工事

背後山地の切取工事を実施するとともに切取土による埋立工事を実施しています。

#### 4. その他

##### (1) 敦賀発電所におけるピアレビューの実施について

日本原子力技術協会（原技協）によるピアレビューが、3月3日（月）～3月14日（金）で実施されました。

これは、原子力発電所の運営を熟知した、原技協の技術者や、電力会社等から派遣された技術者によって構成されたチームが、敦賀発電所の安全に関する取組みなどをレビューする目的で実施されたもので、今回、長所9件、改善提言15件の評価を受けました。

今後は必要な業務改善を図り、一層の発電所の安全性と信頼性の向上に努めて参ります。

##### (2) 六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウムの利用計画について

（平成20年度）

日本原燃株式会社の六ヶ所再処理工場においては、平成18年3月から使用済燃料を使用したアクティブ試験を実施中です。透明性確保の観点から、ウラン・プルトニウム混合酸化物として回収される当社分のプルトニウムの利用計画を取りまとめました。

当社は、プルトニウムの利用について地元の皆さまのご理解を得て進めていきたいと考えております。

（平成20年 3月 7日公表済）

##### (3) 敦賀発電所1号機用新燃料の受入れについて

敦賀発電所1号機用新燃料60体を、平成20年3月13日に受入れました。

（平成20年 3月13日公表済）

##### (4) 敦賀発電所1号炉定期安全レビュー（第2回）結果について

定期安全レビューは、国が定める「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、原子炉設置者が原子炉ごとに「原子炉施設における保安活動の実施状況」および「原子炉施設に対して実施した保安活動への最新の技術的知見の反映状況」等を定期的に評価する活動で、今回は、平成6年8月に公表した第1回目の評価に次ぐ第2回目の評価となり、平成6年4月より平成18年3月末までを評価対象期間として実施しました。

今回評価を行った結果、これまでの運転経験で得られた教訓や最新の技術的知見等が敦賀発電所1号炉に適切に反映され、必要な対応が実施されていることを確認しました。

当社は、本評価結果を踏まえ、これまで実施してきた保安活動を今後とも継続して実施・改善していくことにより、今後の発電所の安全性・信頼性の確保に努めてまいります。

（平成20年 3月21日公表済）

##### (5) 「平成20年度 経営の基本計画」の発表について

平成20年度経営の基本計画の概要について発表を行いました。

（平成20年 3月27日公表済）

(6) 敦賀発電所3, 4号機安全審査における追加調査結果等報告書ならびに敦賀発電所1, 2号機の耐震安全性評価結果中間報告書の提出について

敦賀発電所3, 4号機増設に係る安全審査<sup>※1</sup>の過程において経済産業省原子力安全・保安院（以下「保安院」という。）からの指示<sup>※2</sup>を受けて実施していた敦賀発電所敷地周辺の活断層調査について、調査結果がまとまったことから、本日、報告書を保安院に提出しました。なお、調査結果の評価・とりまとめに当たっては、新しい「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」<sup>※3</sup>（以下「新耐震指針」という。）に基づき実施しています。

当社としては、今回報告した内容も含めて、引き続き国の安全審査に適切に対応していくとともに、今後、新耐震指針を適用した敦賀発電所3, 4号機原子炉設置変更許可申請書の補正書を速やかに提出してまいります。

また、本日、新耐震指針に照らした敦賀発電所1, 2号機の耐震安全性評価結果の中間報告書についても、合わせて保安院に提出しました。

耐震安全性評価は、原子力施設の耐震安全性に対する信頼性を一層向上させることを目的に新耐震指針が策定されたことを踏まえて、保安院からの指示<sup>※4</sup>を受けて実施しているもの<sup>※5</sup>であり、また、新潟県中越沖地震を踏まえた経済産業大臣からの指示<sup>※6</sup>を受けて、本年3月までに中間報告を行うとしていたもの<sup>※7</sup>です。

敦賀発電所1, 2号機の中間報告書において、①新耐震指針に基づく地質調査結果<sup>※8</sup>、②基準地震動 $S_s$ の策定結果、③原子炉を「止める」、「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」に係る安全上重要な機能を有する耐震 $S$ クラスの主要な施設の評価結果についてとりまとめており、当社として策定した基準地震動 $S_s$ を用いた耐震安全性評価の結果、今回評価した主要な施設の耐震安全性が2プラントとも確保されることを確認しました。

今後は、今回提出した中間報告書の内容について国の確認を受けていくとともに、最終報告<sup>※9</sup>に向けて、今回報告以外の評価対象施設等の耐震安全性評価を進めてまいります。

耐震安全性評価に関しては、今後とも、新潟県中越沖地震等から得られる知見に係る情報収集に引き続き取り組むとともに、既設2プラントの最終報告に向けた評価および敦賀発電所3, 4号機に係る検討において、必要に応じて最新の知見を適切に反映してまいります。

また、耐震安全性評価と併行して実施している既設発電所の耐震裕度向上工事については、引き続き、計画的に、かつ着実に取り組んでまいります。

※1：「敦賀発電所3, 4号機の増設に係る原子炉設置変更許可申請等について」（平成16年3月30日発表済）

※2：「敦賀発電所3, 4号機の安全審査に係る追加調査の実施について」（平成17年2月22日発表済）

※3：「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」（平成18年9月19日原子力安全委員会決定）

※4：「「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」等の改訂に伴う既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価等の実施について」（平成18年9月20日経済産業省原子力安全・保安院）

※5：「東海第二発電所及び敦賀発電所1, 2号機の耐震安全性評価実施計画書の提出について」

（平成18年10月18日発表済）

※6：「平成19年新潟県中越沖地震を踏まえた対応について（指示）」（平成19年7月20日経済産業大臣）

※7：「東海第二発電所及び敦賀発電所1，2号機の耐震安全性評価実施計画書の見直し検討結果について」  
（平成19年8月20日発表済）

※8：敦賀発電所1，2号機耐震安全性評価結果中間報告書の地質調査結果は、敦賀発電所3，4号機安全審査に係る追加調査結果の内容を反映している。

※9：敦賀発電所1，2号機については平成21年3月、東海第二発電所については平成20年12月  
（平成20年 3月31日公表済）

#### （7）敦賀発電所への新消防車の配備について

当社は、平成19年7月20日、経済産業大臣より、平成19年新潟県中越沖地震を踏まえた、自衛消防体制の強化、及び迅速かつ厳格な事故報告体制の構築等の指示を受け、自衛消防体制及び事故報告体制についての具体的な改善計画を策定しました。

この改善計画に則り、消火設備の多様化・多重化を図ることを目的として、敦賀発電所に水槽付消防車1台を新規に配備すると共に、併せて、従来から所有していた化学消防車1台を更新し、合計2台の消防自動車の配備体制としました。

今後、改善計画に則した対策を基に、自らが行う消火活動を迅速に行い、原子力施設の安全確保に万全を期してまいります。

（平成20年 4月 8日公表）

#### （8）搬出済の低レベル放射性廃棄物の表面線量当量率データの誤りについて

敦賀発電所では、平成5年度から平成17年度の間に、日本原燃株式会社低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県六ヶ所村）に低レベル放射性廃棄物（以下、「廃棄体」）を6,048本搬出しましたが、このうち2,114本について、搬出する際に当社が測定し、提供したデータの一部（表面線量当量率）に誤りのあることが分かったため、その旨日本原燃株式会社に報告いたしました。

これは、昨年12月に他発電所で確認された事象<sup>\*1</sup>に鑑み、敦賀発電所においても確認作業を行っていた中で分かったものです。

誤りの原因は、廃棄体の表面線量当量率の測定に際し、補正定数を用いた換算処理<sup>\*2</sup>を行っていますが、その計算プログラムに誤りがあったためであり、表面線量当量率が小さくなっていました。

誤りのあったデータの訂正後の数値は最大のもので1.8mSv/h<sup>\*3</sup>（訂正前1.7mSv/h）であり、埋設基準（表面線量当量率10mSv/h以下）や輸送基準（表面線量当量率2mSv/h以下）に比べて低く、放射線安全や保安上の問題となるものではありませんでしたが、誤りのあったデータの訂正を行うとともに、再発防止対策を検討し実施します。

なお、今回、その他の廃棄体検査に係るプログラム等について再確認を行い、問題のないことを確認しました。

\*1：他発電所で確認された事象

廃棄体検査装置の改造工事において、表面線量当量率プログラムに使用している設定値の一部を誤って設定していたことで、表面線量当量率が誤った値となっていたもので、日本原燃株式会社より、同様な事象がないか確認するよう依頼があった。

\*2：補正定数を用いた換算処理

放射線量率が高くなると、放射線測定器の指示特性上その値がやや低めの値となることから、その低くなった値を、真の値にするため校正データを用いて計算プログラム上で補正しています。

\* 3 : 1. 8 mS v / h

当初の値 1. 7 mS v / h は、指示特性上の補正を行うと + 0. 0 2 1 mS v / h 増加することとなり、有効数値 2 桁に切上げ処理をするため、1. 8 mS v / h となる。

(平成 2 0 年 4 月 8 日公表)

#### (9) 敦賀発電所における保管物品の紛失に係る調査について

敦賀発電所において、資材倉庫で保管していた雑固体減容処理設備の部品 1 個\*<sup>1</sup>、配管 3 本\*<sup>2</sup>が、所在不明であることを、平成 2 0 年 2 月 1 3 日に確認しました。

このため、当該物品について、発電所構内を捜索するなど調査を行っていますが、現在のところ、当該物品の所在が確認されておりません。今後、発電所で保管する物品の所在確認調査を引き続き実施してまいります。

当社としては、平成 1 9 年 5 月に確認されたステンレス配管の紛失に鑑み、物品搬出入の管理強化を図っているところですが、今回の事象発生は、誠に遺憾であり、今後とも再発防止に努めてまいります。

\* 1 : 雑固体減容処理設備の熔融炉に廃棄物を投入する設備の先端部のステンレス・銅製部品で、直径約 8 8 c m、長さ約 6 5 c m、厚さ約 1. 4 c m の円筒形状、重さ約 6 0 0 K g で、交換用の予備部品。

\* 2 : 直径約 2 2 c m、長さ 3 m のステンレス配管 2 本、直径約 2 2 c m、長さ 4 m の炭素鋼配管 1 本、重さそれぞれ約 3 0 0 K g、1 号機の取替用予備配管で、現時点では使用予定はありません。

(平成 2 0 年 2 月 1 9 日 公表済)

紛失物品があったことから、発電所の貯蔵品について、梱包物を開封等し現品確認を実施した結果、これまで公表した以外の物品で所在不明の物品はありませんでした。

また、発電所よりの物品搬出時に作成される搬出票の確認、資材倉庫監視カメラの映像確認を実施した結果、特に異常はなく、平成 1 9 年 5 月よりの物品搬出入の管理強化対応以前に紛失したものであると推察されました。

今後、関係個所のご指導を受け対応してまいります。

#### (10) 発電設備の総点検に係る再発防止対策の実施状況に対する原子力安全・保安院の確認結果について

東海第二発電所、敦賀発電所 1 号機及び 2 号機の発電設備の 1 5 件の不適切な事案に対して、昨年 5 月 2 1 日に新行動計画として 2 5 項目の再発防止対策を策定しました。現在トップマネジメントのもと安全第一を最優先に、全社一丸となって再発防止対策に取り組んでおり、その取り組み状況について、原子力・安全保安院による保安検査にて確認を受けてきました。

平成 2 0 年 3 月 3 1 日に敦賀発電所は、原子力安全・保安院より、再発防止対策等に関し、不正を許さない取り組みが経営層の実質的な意識改革や改善努力のもと、PDCAサイクルが機能する仕組みとして構築され、自律的かつ継続的な改善につなげていることを確認したため、今回の保安検査をもって「特別な保安検査を終了する。今後は安全文化及びコンプライアンスなど社員の意識変化に係る傾向分析などを含めた有効性評価に着目しつつ原子力安全に関する企業文化及び組織

風土の定着状況について、引き続き、保安検査を通じ、厳格にフォローアップしていくことにする。」との確認結果をいただきました。

なお、第4回保安検査にて確認を受けた項目につきましては、原子力安全・保安院からの検査結果の公表後に当社ホームページに掲載する予定です。

#### (11) げんでんふれあいギャラリー

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。>

○平成10年6月22日に開設し、地域の方々の絵画・書道・手芸などの作品発表の場として活用いただいております“げんでんふれあいギャラリー”は、平成20年3月22日(土)に来場者数10万人を達成いたしました。

これは、開設以来、年間約1万人の方にご来場いただいたことになり、非常に感謝しております。

当社では、これからも地域の皆様とのふれあいを大切に、さらに良いギャラリーとして親しんでいただけるよう努めてまいります。

##### 1) わたしたちのビーズスタイル No.8

〔ビーズ工房(代表:田中 喜美枝様)の皆様による、ビーズアクセサリーの作品展です。当ギャラリーでの展示は4回目となります。現在約30名の方がビーズアクセサリーの制作・技術の向上に取り組んでおられます。ビーズアクセサリー・小物・マスコット等1,000点展示。 (4/1~4/13)〕

##### 2) 楽彩展

〔敦賀市在住の高村 恒子様と杉田 もり子様による油彩・水彩画等の絵画展です。高村様と杉田様は、敦賀市生涯学習センター洋画教室「カリコール」に所属し、作品制作に取り組んでおられます。四季折々の自然や旅行先でのスケッチ等お2人が楽しく描かれた作品を約30点展示予定です。〕 (4/15~4/20)〕

##### 3) 青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージポスターの部入賞作品展

〔青少年健全育成敦賀市民会議主催による、敦賀市内在住または、通勤・通学している小学生以上の方を対象としたポスターコンテストの入賞作品展です。テーマは「明るく楽しい家庭」「明るく楽しい学校生活」「住みよい町づくり」等です。優秀作品を約60点展示予定です。〕 (4/22~5/4)〕

##### 4) 「揖斐川石(全石)展」

〔敦賀市在住の清水 一廣様(一香庵)によるご自身で採取された石の展示です。当ギャラリーでの展示は5回目となります。今回は、岐阜県の揖斐川で採取した自然石(伝統水石)を約40石展示予定です。〕 (5/6~5/11)〕

以 上

参考:敦賀発電所の運転実績等について(平成19年度)



## 敦賀発電所の運転実績等について

(平成19年度)

平成20年 4月 8日

日本原子力発電株式会社

## 1. 運転実績の総括

平成19年度の当社敦賀発電所(1号機:沸騰水型軽水炉、定格電気出力35.7万kW、2号機:加圧水型軽水炉、定格電気出力116万kW)の運転実績は、下記のとおりです。

|     | 発電電力量(億kWh) |       | 時間稼働率(%) <sup>※1</sup> |       | 設備利用率(%) <sup>※2</sup> |       |
|-----|-------------|-------|------------------------|-------|------------------------|-------|
|     | 平成19年度      | 前年度実績 | 平成19年度                 | 前年度実績 | 平成19年度                 | 前年度実績 |
| 1号機 | 約17.1       | 約26.0 | 約55.1                  | 約85.7 | 約54.8                  | 約83.3 |
| 2号機 | 約37.8       | 約65.5 | 約40.2                  | 約64.3 | 約37.1                  | 約64.5 |

※1 時間稼働率:1年間の暦日時間数(365日×24時間)に対し、実際に発電した時間数の割合。

※2 設備利用率:定格電気出力で1年間運転した場合の発電電力量に対し、実際に発電した電力量の割合。  
定格熱出力一定運転による発電電力量増加分(1号機で0.2%増加、2号機で1.9%増加)を含む値。

1号機は年度当初の運転計画[時間稼働率:約91.3%、設備利用率:約88.1%]を下回りました。運転状況では、発電停止事象が1件、及び定期検査での特別な検査対応とトラブル対応等で定期検査延長となりました。

2号機は年度当初の運転計画[時間稼働率:約77.3%、設備利用率:約75.7%]を下回りました。運転状況では、出力抑制事象が1件発生したこと、及び定期検査の延長から設備利用率及び時間稼働率の低下につながりました。

[添付資料内 1, 2]

## 2. 運転状況

## (1) 定期検査

平成19年度には1号機、2号機ともに定期検査を行っています。

1号機は平成19年2月16日から10月31日まで第31回定期検査を実施しました。(当初計画は5月2日までの予定でしたが、特別な検査の対応と原子炉給水ポンプAミニマムフロー配管エルボ部からの漏えい対応により調整運転開始が遅れ、また調整運転期間中に原子炉再循環ポンプAメカニカルシール点検に伴う原子炉手動停止を実施したことにより、計画76日間から122日遅延の198日間となりました。)

2号機は、平成19年8月26日から12月中旬まで(約4ヶ月)の予定で第16回定期検査を計画し、原子炉容器上部ふた取替工事、蒸気タービン取替工事及びニッケル基合金応力腐食割れ対策工事等を実施していましたが、蒸気発生器入口管台溶接部での傷の確認による対応工事により、定期検査が延長となっています。

[添付資料内 1]

## (2) 運転期間

1号機は平成19年度の定期検査終了(営業運転日起算)から平成19年度末までの運転期間が、153日間、2号機は平成19年度の定期検査開始までの運転期間が、147日間でした。

## (3) 異常事象

安全協定に基づき報告した異常事象は6件[うち、法律に基づく国への報告事象:1件]あり、いずれの事象においても周辺環境への放射能の影響はありませんでした。

法律対象事象については、国際原子力事象評価尺度<sup>※</sup>では「0-」と評価されました。

発電に支障を与えた異常事象は、原子炉停止が1件、また異常時報告に該当しない軽微な事象で出力抑制が1件ありました。

[添付資料内 3]

※経済産業省によるトラブルの評価であり、「評価対象外」および「レベル0~7」で評価されます。

### 3. 輸送実績

新燃料の輸送、使用済燃料の輸送および低レベル放射性固体廃棄物の輸送実績は、添付資料の4, 5, 6に示すとおりでした。

[添付資料内 4, 5, 6]

### 4. 耐震裕度向上工事の実績

既設設備の耐震裕度を一層向上させるため、1号機第31回定期検査において、格納容器冷却系等の配管や中央制御室換気空調系の空調ダクトのサポート等を強化しました。また、非活性ガス系配管と原子炉再循環配管分岐管のサポート強化を追加で行いました。

さらに、1号機取水系構造物について、金属製の矢板等により補強を実施継続中で、平成20年度も引続き行います。

2号機第16回定期検査においては、加圧器逃がし配管等の支持構造物を強化しました。また、一次冷却系等の配管支持構造物の強化を実施中であり、平成20年度も引続き行います。

[添付図-1, 2, 3]

以 上

## 平成19年度年間保守運営実績

1. 運転実績
  2. 設備稼働実績
  3. 対外報告事象一覧
    - (1) 法律に基づく報告事象および安全協定に基づく異常時報告事象
    - (2) 安全協定に基づく異常時報告に該当しない軽微な事象
    - (3) その他
  4. 新燃料輸送（受け入れ）実績
  5. 使用済燃料（搬出）実績
  6. 低レベル放射性固体廃棄物輸送（搬出）実績
- 添付図－1 （1号機）耐震裕度向上工事  
添付図－2 （1号機）取水系構造物耐震裕度向上工事  
添付図－3 （2号機）耐震裕度向上工事

## 1. 運転実績

|     | 運 転 概 要 図               |    |    |    |                                     |    |     |     |     |    |    |    |
|-----|-------------------------|----|----|----|-------------------------------------|----|-----|-----|-----|----|----|----|
|     | 4月                      | 5月 | 6月 | 7月 | 8月                                  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 1号機 | 2/16~                   |    |    |    | 原子炉再循環ポンプAメカニカルシール点検に伴う原子炉手動停止(12日) |    |     |     |     |    |    |    |
|     | 第31回定期検査(198日)          |    |    |    |                                     |    |     |     |     |    |    |    |
| 2号機 | 復水器海水系統フィルタの清掃に伴う出力抑制運転 |    |    |    | 第16回定期検査                            |    |     |     |     |    |    |    |
|     |                         | 28 | 20 |    | 26                                  |    |     |     |     |    |    |    |

凡例：  注：( ) 内の日数は発電停止日数

停止期間 調整運転中 運転中 トラブル停止

## 2. 設備稼働実績

| 号機名 | 発電時間<br>(時間) | 発電電力量<br>(億キロワット・時) | 時間稼働率<br>(%) | 設備利用率<br>(%) |
|-----|--------------|---------------------|--------------|--------------|
| 1号機 | 4,836        | 17.1                | 55.1         | 54.8         |
| 2号機 | 3,528        | 37.8                | 40.2         | 37.1         |

### 3. 対外報告事象一覧

#### (1) 法令に基づく報告事象および安全協定に基づく異常時報告事象

| 号機名 | 発生日        | 事象発生時<br>運 転 状 況   | 事 象 概 要                                | 運 転 へ の<br>影 響 等 | 国への※1<br>報告区分 |
|-----|------------|--------------------|--|------------------|---------------|
|     |            |                    |  |                  | 評価尺度※2        |
| 1号機 | H19. 4. 5  | 定期検査中              | 格納容器冷却海水系からの水漏れに伴う炉心スプレイポンプ駆動用電動機の機能低下 | —                | —<br>—        |
| 共通  | H19. 5. 2  | 1号機定期検査中<br>2号機運転中 | 補助ボイラの定期事業者検査の未実施                      | —                | —<br>—        |
| 1号機 | H19. 7.22  | 定期検査中              | 原子炉給水ポンプAミニマムフロー配管エルボ部からの漏えい           | —                | —<br>—        |
| 1号機 | H19. 9. 25 | 定期検査中<br>(調整運転中)   | 原子炉再循環ポンプAメカニカルシール点検に伴う原子炉手動停止         | 手動停止             | —<br>—        |
| 2号機 | H19.10.18  | 定期検査中              | 蒸気発生器入口管台溶接部での傷の確認                     | —                | 法律<br>0—      |
| 1号機 | H19.11.11  | 運 転 中              | 使用済燃料貯蔵池冷却系プリコートポンプ出口流量計からの水漏れ         | —                | —<br>—        |

※1 法律：「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（原子炉等規制法）

※2 経済産業省による I N E S（国際原子力事象評価尺度）の評価

## (2) 安全協定に基づく異常時報告に該当しない軽微な事象

保全品質情報及び発電所運営の透明性の観点から、(1) 項以外で公表した事象

| 号機名 | 発生日        | 事象発生時<br>運 転 状 況 | 事 象 概 要               | 運 転 へ の<br>影 響 等 |
|-----|------------|------------------|-----------------------|------------------|
| 1号機 | H19. 4.10  | 定期検査中            | 制御棒駆動機構空気抜き作業中被水      | —                |
| 1号機 | H19. 4.11  | 定期検査中            | 非常用復水器水抜き作業での溢水       | —                |
| 1号機 | H19. 5.16  | 定期検査中            | 原子炉再循環ポンプ入口弁のこすれ跡     | —                |
| 2号機 | H19. 5.28  | 運 転 中            | 復水器海水系統フィルタの清掃に伴う出力抑制 | 出力抑制             |
| 1号機 | H19. 6.17  | 定期検査中            | 非常用ディーゼル発電機試験準備中の誤起動  | —                |
| 1号機 | H19. 9. 8  | 定期検査中            | 制御棒駆動ユニットのプラグ点検       | —                |
| 2号機 | H19. 9.17  | 定期検査中            | B蒸気発生器2次側管板上面での異物確認   | —                |
| 2号機 | H19.11. 8  | 定期検査中            | 第5抽気系逆止弁の肉厚測定結果       | —                |
| 1号機 | H19.12.20  | 運 転 中            | 低圧タービン軸封部フランジからの水の滴下  | —                |
| 2号機 | H20. 1. 30 | 定期検査中            | 使用済燃料の構内移送作業中における被水   | —                |
| 1号機 | H20. 2. 5  | 運 転 中            | 床ドレン収集タンク出口配管の減肉      | —                |

## (3) その他

| 号機名 | 発生日       | 事象発生時<br>運 転 状 況 | 事 象 概 要         | 運 転 へ の<br>影 響 等 |
|-----|-----------|------------------|-----------------|------------------|
| 共通  | H19. 5.18 | —                | 敦賀発電所の保管物品の紛失   | —                |
| 共通  | H20. 2.19 | —                | 敦賀発電所の保管物品の所在不明 | —                |

#### 4. 新燃料輸送（受け入れ）実績

| 号機名 | 輸送体数 | 搬出元事業社名                       | 発電所到着日     |
|-----|------|-------------------------------|------------|
| 2号機 | 32体  | 三菱原子燃料株式会社                    | 平成19年5月11日 |
| 2号機 | 32体  | 三菱原子燃料株式会社                    | 平成19年5月17日 |
| 2号機 | 16体  | 原子燃料工業株式会社                    | 平成19年5月31日 |
| 1号機 | 60体  | (株)グローバル・ニュークリア・<br>フュエル・ジャパン | 平成20年3月13日 |

#### 5. 使用済燃料（搬出）実績

平成19年度は、搬出実績はありません。

#### 6. 低レベル放射性固体廃棄物輸送（搬出）実績

平成19年度は、輸送（搬出）実績はありません。

以上

(1号機) 耐震裕度向上工事

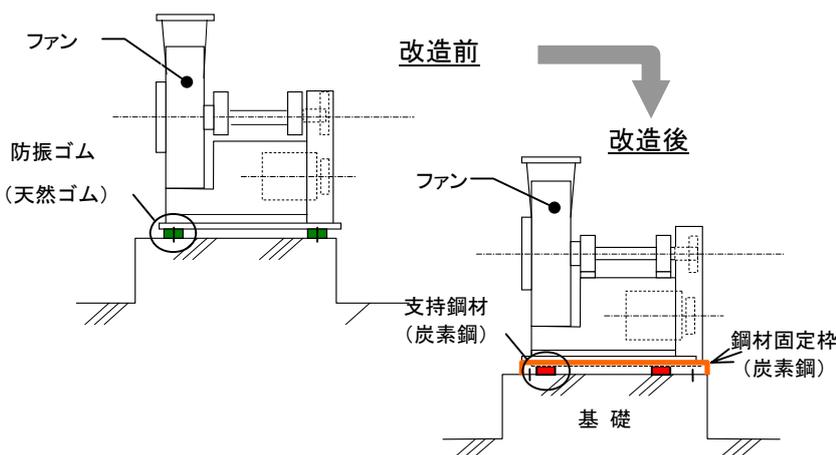
概要

既設設備の耐震裕度を一層向上させるため、格納容器冷却系等の配管や中央制御室換気空調系の空調ダクトのサポート等を強化しました。

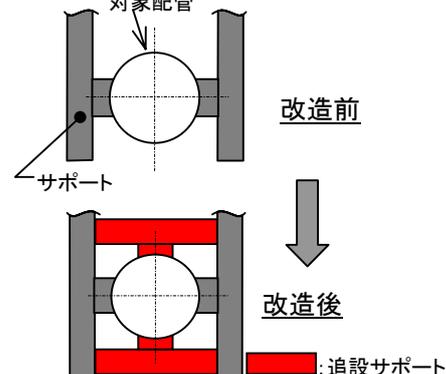
【工事箇所一覧】

| 系統名称         | 支持構造物の補強内容                | 改造箇所数 | 例示 |
|--------------|---------------------------|-------|----|
| 非常用ガス処理系     | 非常用ガス処理ファン基礎改造            | 1箇所   | ①  |
|              | 配管サポート改造                  | 64箇所  | ②  |
| 中央制御室換気空調系   | 中央制御室換気空調系ファンフィルターケーシング改造 | 2箇所   | ③  |
|              | 空調ダクトサポート改造               | 22箇所  | ④  |
| 液体毒物注入系      | 配管サポート改造                  | 8箇所   | ②  |
| 格納容器冷却系      | 配管サポート改造                  | 6箇所   | ②  |
| 非活性ガス系       | 配管サポート改造                  | 33箇所  | ②  |
| 原子炉再循環系配管分岐管 | 配管サポート容量（配管を押さえる力）の増加     | 2箇所   | ⑤  |

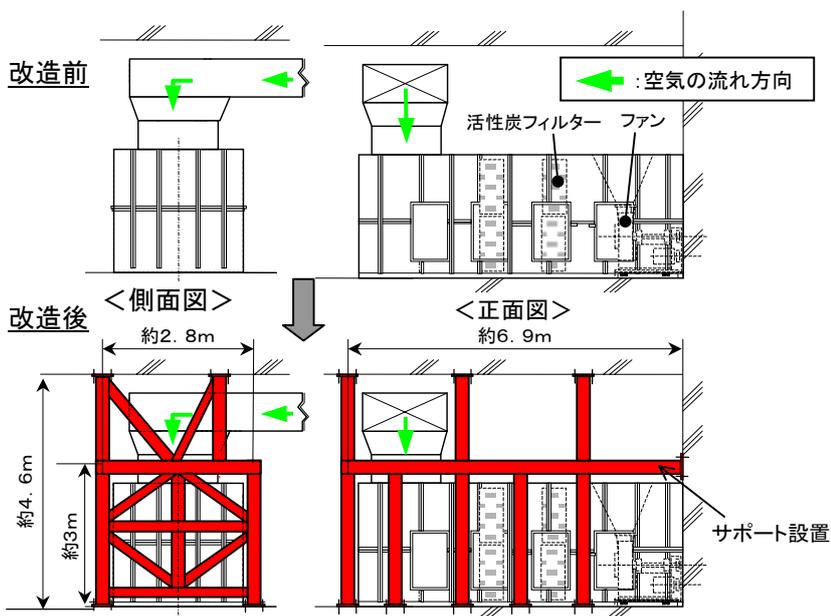
①ファン基礎改造



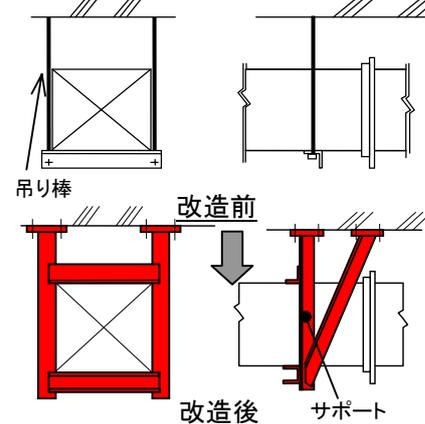
②配管サポート改造



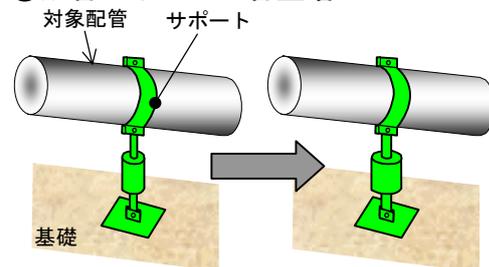
③中央制御室換気空調系ファンフィルターケーシング改造



④空調ダクトサポートの改造



⑤配管サポートの容量増加



(1号機) 取水系構造物耐震裕度向上工事

**概要**  
 既設設備の耐震裕度を一層向上させるため、1号機取水系構造物について、金属製の矢板等により補強します。(実施継続中)

